

【彙報】

②その他

第3回 名誉博士平松礼二画伯 特別展覧会

第3回名誉博士 平松礼二画伯 特別展覧会を11月15日～23日の9日間、大学記念館2階 名誉博士記念室にて開催しました。多くの方々の観覧があり、9日間で1,502名の来館者となりました。

今回の展覧会作品は、著名な日本画家である平松礼二画伯自ら厳選されたものです。日本各地、東海地方、フランスジャポニズム、「文藝春秋」の表紙画など多彩な作品が展示されました。

また、特別展覧会開催期間中に「Hiramatsu à Giverny ジヴェルニー印象派美術館『ジャポニスム／印象派』展から」を上映しました。多くの皆様が映像を熱心に見入り、傾聴しておられました。

【来館者の感想】

- ・映像があることで理解が深まり、大変良いと思います。『モネが歩いたジヴェルニー村』の赤い花を見たときに、モネの絵画を思い出しました。とても大好きな絵のひとつですが、それをまた平松先生の作品で見れたことで繋がっているように感じました。素晴らしい作品の数々をゆっくり見ることができてとてもうれしかったです。
- ・とても素晴らしかったです。私が心魅かれたのは屏風作品「路・白い波の彼方へ」と「フランス屏風・春の曲」いつまでも見ていたい作品でした。また、「行く夏の夕」は絵の世界に引き込まれて行くようでしたし、「夕秋図」や「花彩富士山」「ノルマンディー野の色」の小花の描き花には、ため息しか出ませんでした。来年も期待しています。
- ・すごく沢山の絵があって大きな絵を、子供も「すごーい」と観ていたので、何か心にのこったのではないかと思ってうれしいです。
- ・「日本画の世界から世界画へ」の通り、いろいろな印象の絵が見られてよかったです。絵の中に時々小動物や虫が描かれていて生き物を愛する心が伝わってきました。
- ・こういった画風は今まであまり見たことがなく衝撃を受けました。細かい描写と思いついた構図がとても素敵でした。
- ・平松画伯の絵をこれだけたくさん一気に見る機会は初めてで、感動しました。しかも、数年前にジヴェルニーを旅したので、その懐かしさも相まって感動もひとしおでした。
- ・素晴らしいです。豊橋に生まれ86年この愛知大学近くに過ごしていました。こんなまたとない素晴らしい平松画伯の展覧会を身近にみられて感謝の一言です。ありがとうございます。
- ・はじめて平松礼二作品展を見せていただきました。一作一作に込められた画家の魂のようなものに触れることができ大変よかったです。
- ・『日本』を感じその良さ、素晴らしさをしみじみ感じました。
- ・伝統的な日本画の技術をみせながら、ちょっとした遊び心を込めている平松先生の人柄が感じられました。屏風の作品はその素晴らしい表現に圧倒されました。

